# 米ヤフー中核事業売却、ベライゾン・ＡＴ＆Ｔが最終入札へ＝関係筋

６月１３日、米インターネット検索大手ヤフーの中核事業売却をめぐり、通信大手ベライゾン・コミュニケーションズやＡＴ＆Ｔなどが最終入札に進む見込みとになった。写真はカリフォルニアで２０１３年４月撮影（２０１６年　ロイター／Mike Blake）

［ニューヨーク　１３日　ロイター］ - 米インターネット検索大手ヤフー([YHOO.O](http://jp.reuters.com/investing/quotes/quote?symbol=YHOO.O))の中核事業売却をめぐり、通信大手ベライゾン・コミュニケーションズ([VZ.N](http://jp.reuters.com/investing/quotes/quote?symbol=VZ.N))やＡＴ＆Ｔ([T.N](http://jp.reuters.com/investing/quotes/quote?symbol=T.N))などが最終入札に進む見込みとになった。関係筋が明らかにした。

ヤフーは取締役会で２次入札の買収案について検討、１３日にも最終入札に進めるかどうか成否を通知するという。

ベライゾンはヤフーの中核資産を買収することで傘下のＡＯＬとの相乗効果が見込まれるが、関係者によると、同社の提示額は２次入札で示された提示額（３５─５０億ドル）の下限だった。

ヤフーは来月までに入札を完了したい意向という。

関係者によると、住宅ローン会社、クイックン・ローンズの創業者ダン・ギルバート氏が率いるグループも最終入札に進む見通し。同グループは米投資会社バークシャー・ハザウェイ([BRKa.N](http://jp.reuters.com/investing/quotes/quote?symbol=BRKa.N))のウォーレン・バフェット会長が資金調達を支援している。

２次入札に進んだ一部のプライベートエクイティー（ＰＥ）投資会社は、最終入札での買収案提出を要請されていないという。

ヤフー、ベライゾン、ＡＴ＆Ｔはコメントを控えた。クイックン・ローンズの広報担当者はロイターの取材要請に応じていない。